

肉用横斑プリマスロックの効率的育成技術					
<p>[要約] 肉用横斑プリマスロックを純系で肉用鶏として飼育するには、ブロイラー用前期飼料を4週まで、同後期飼料を10週まで、地どり用仕上げ飼料を11週以降に給与する。出荷適期は17週前後である。飼育密度10羽/m²以内では増体に差はないが、床面を清潔に保つには6羽/m²以内とする。育成率と飼料効率向上のため、デビークが必要である。</p>					
担当部署	畜産研究所・中小家畜部・家きん研究室			連絡先	092-925-5177
対象作目	肉用鶏	専門項目	飼養管理	成果分類	技術改良

[背景・ねらい]

平成5年から育種を開始した当場の肉用横斑プリマスロック系統(以下、BP)は、平成11年以降、「はかた一番どり」の原々種鶏として活用されている。このBPはその後も体重が増大し、純系のまま「地どり」クラスの肉用鶏として普及可能と考えられる。そのためには、飼育管理マニュアルが必要となる。そこで、純系の肉用BPを最も効率的に育成するための飼料の栄養水準、飼料の切り替え時期、出荷週齢、デビークの必要性、飼育密度について明らかにする。(要望機関名 畜産課(H9))

[成果の内容・特徴]

1. 後期飼料の代謝エネルギー(ME)水準は、ブロイラー飼料の3,150kcal/kgが最も増体が良好であるが、脂肪は増加する(表1)。
2. 後期飼料への切り替えは、3週齢では正肉歩留まりが低下する傾向となることから、4週が適当である(表2)。後期仕上げ飼料の切り替えは、11~13週の範囲では発育に差はない。仕上げ飼料は後期飼料よりやや安価なので、早めに11週から用いるのが効率的である。
3. デビークなしでは餌こぼしとカニバリズムによって育成率と飼料要求率が大幅に悪化するので(表1対表2~4)、初生デビークの実施が不可欠である。
4. 飼育密度は、10羽/m²以内では生体重に影響は無い。飼料要求率では4~8羽/m²より10羽/m²が優れている。しかし、8羽/m²以上では床面状態が悪化し、4羽/m²まで密度を下げると腹腔内脂肪が減少するので、衛生面等総合的に判断して6羽/m²以内を推奨する。
5. 総合すると、肉用BPは、ブロイラー用後期飼料と地どり用仕上げ飼料を用いた平飼いで、17週前後で出荷適正体重3.0kgに到達する。飼料要求率は約4でブロイラーの2倍、鶏舎回転効率率はブロイラーの1/2となるため、肉の価格は最小でブロイラーの2倍~最大4倍の範囲となる。

[成果の活用面・留意点]

1. 管理マニュアルの作成に利用することができる。

[具体的データ]

表1 後期飼料の代謝エネルギー水準が発育に及ぼす影響 (平成11年)

4~12週齢給与 飼料ME-CP	18週育 成率%	生体重 kg				飼料要求率			腹腔内脂肪率%		
		14	16	17	18週	16	17	18週	16	17	18週
3,150kcal - 18%	89.8	2.46	2.81	3.00	3.13	5.4	5.5	5.8	6.7	6.0	6.3
3,015 " - 18 "	94.2	2.25	2.63	2.81	2.96	5.7	5.8	5.9	5.5	5.7	5.6
2,880 " - 18 "	90.5	2.24	2.62	2.85	2.97	5.9	6.0	6.3	6.3	4.0	4.0

注) 4週まではCP20.5% - ME3,080kcal/kgのプロイラ - 前期飼料、13週以降はCP18% - ME3,100kcal/kgの仕上げ飼料を給与。デビークなし。

表2 前期飼料 後期飼料の切り替え時期別の育成成績 (平成12年)

後期飼料 切替期	17週育 成率%	生体重 kg				飼料要求率			正肉歩留%			腹腔内脂肪率%		
		7	13	15	17週	15	16	17週	15	16	17週	15	16	17週
3週齢	96.5	0.93	2.42	2.85	3.25	3.5	3.8	3.9	33.6	33.7	35.0	5.2	4.6	5.9
4週齢	98.0	0.96	2.47	2.85	3.26	3.5	3.7	3.8	34.7	34.5	36.2	4.2	5.1	5.1

注) 初生デビーク実施。飼育密度6羽/m²。

表3 後期飼料 仕上げ飼料の切り替え時期別の育成成績 (平成12年)

仕上げ飼料 切替期	17週育 成率%	生体重 kg			飼料要求率			正肉歩留%			腹腔内脂肪率%		
		15	16	17週	15	16	17週	15	16	17週	15	16	17週
11週齢	97.5	2.86	3.04	3.26	3.6	3.8	3.9	33.6	34.9	34.9	5.0	3.9	5.9
12週齢	97.5	2.88	3.06	3.28	3.5	3.7	3.9	33.7	35.1	36.3	4.6	5.1	4.9
13週齢	96.8	2.81	3.04	3.23	3.5	3.7	3.8	35.1	32.4	35.6	4.6	5.6	5.8

注) 初生デビーク実施。飼育密度6羽/m²。

表4 飼育密度別育成成績及び敷料の状態 (平成13年)

飼育 密度	17週育 成率%	生体重 kg			飼料要求率			腹腔内脂肪率%			17週敷料の状態	
		15	16	17週	15	16	17週	15	16	17	水分%	糞板形成
4羽/m ²	97.5	2.62	2.85	3.05	4.1	4.2	4.3	3.8	3.7	3.8	21.0	-
6	97.5	2.64	2.85	3.00	3.9	4.1	4.2	4.4	3.7	4.8	27.2	±
8	97.5	2.59	2.76	2.90	4.0	3.9	4.1	4.7	4.3	4.5	40.3	+
10	96.7	2.64	2.88	3.04	3.7	3.8	3.9	4.0	4.5	4.7	53.0	+

注) 初生デビーク実施。

[その他]

研究課題名：肉用横斑プリマスロックの飼養管理技術の確立

予算区分：経常

研究期間：平成11~13年度

研究担当者：西尾祐介、福原絵里子、池田加江、田口清實、横山学

